



巻頭言

新年を迎えて

茨城県知事 岩上二郎
茨城県統計協会総裁

明けましておめでとうございます。

晴れやかな昭和46年の新春を皆様と共にむかえ、ここにお祝いできますことを大変嬉しく存じます。

同時に例年のとおり新年の賀詞交換を終え机上の真新しい県民手帳を開きますと年があらたまった感じとともに今年の課題、引き続き懸案事項等が彷彿として浮かび期待と緊張の漲る一瞬を覚えております。

本年は、干支によれば猪年にあたります。猪は、前後の考えもなく無鉄砲に突進する例としてよくつかわれます。

しかし私どもには理性があります。歴史があります。そして何にもましてより豊かな社会、より明るい社会を築こうとする熱意と情熱があります。

私は常に県民による県民のための行政を考え県民のみなさんと歩んでまいりましたが、今年もまた社会情勢は急激に進展していくものと思われまます。

このような中にあつて本県の進む方向の位置づけを知らせてくれるものは皆様のご協力によつて得られる統計情報であります。

昨年は農林業センサス、商業調査、国勢調査と大規模な調査が実施されました。そして特に自然増、社会増により大きく人口増をみた国勢調査の結果は、飛躍する本県の姿を如実に示すものとして、また「農工商全」を基調とした諸施策が漸次成果をあげつつあるものと信じております。これもひとえに、皆様方統計関係者の総力をあげてのご協力があつたからこそ深く感謝申し上げます。

また、統計協会といたしましても、皆様方の積極のご支援により各種事業が活発に実施され、統計思想の普及向上と統計事業の振興発展に寄与できましたことをあわせてここに深く感謝申し上げますとともに本年も各種重要な統計調査が行なわれますが、正確にして信頼され、利用される統計作成のため、前年にもまして格別のご協力を賜りますようお願い申し上げます、新年のあいさつといたします。

昭和46年新春